

## 7) 県内の特徴的な動き(平成22年度)

### (1) 三戸地方黒毛和種育種組合の設立

三戸地方黒毛和種育種組合(事務局:三戸畜産農業協同組合)は、平成22年7月に全国和牛登録協会から、優良な種雄牛と繁殖雌牛の育成に取り組む「育種組合」として、県内で初めて(全国28番目)認定を受けました。

組合では、自ら定めた厳しい育種牛選定基準に基づき、地域の雌牛の調査と選定を行い、地域特有の優秀な系統の雌牛群の整備と種雄牛づくりを目指しています。



育種組合設立総会



繁殖雌牛の体型審査

### (2) 下北酪農活性化協議会の活動

下北地域では、平成22年7月に行政機関、農協、酪農関係者をメンバーとした下北酪農活性化協議会を設置し、低コスト飼料調製実演会の実施や、地域飼料資源を活用したTMR飼料調製実証、地元産生乳を使った新商品開発などを行っています。



粗飼料収穫調整技術の勉強会



限定販売牛乳のラベル

### (3) 獣医師確保対策の実施

県では、平成22~23年度事業として、獣医系大学を目指す学生の増加、獣医師への理解度向上を目的として、「あおり食産業を守る獣医師確保緊急対策事業」を実施しています。

獣医系大学生への修学金給付、高校への出前講座、獣医系大学生との交流、最新機器を活用した技術研修を実施するとともに、青森県獣医師確保対策会議を設置しました。



獣医系大学生への職務紹介